

昭和五十八年度県南教育事務所管内 教育懇談会 — 概要 —

今年度の教育懇談会は、六月十七日

(金)午後一時半から県南教育事務所
で開かれました。出席者は、諸橋教育
委員長、初瀬委員、坪井委員、角田委
員の他、教育庁から村岡総務課長、飛
田県南教育事務所長をはじめ多数の先
生方。また地元からは深谷白河市教育
長ほか十三名が参加し、「地域に根差
した魅力ある学校づくりのために」を
テーマに熱心な話し合いがもたれまし
た。

諸橋委員長が、「最近の学校は、比
較的に施設設備が充実してきていま
すが、その反面、子どもたちの非行、暴
力問題などがおきております。それら
は社会情勢の変化や親の考え方の変化
からきている面もあります。そのよう
な中で、先生方が日々、真剣に教育に
取り組まれていることに感謝しており
ます。今日は、そのような毎日の実践
の中でお気づきの点をうけたまわる会
でありますので立て前論でなく、是非
ざっくばらんなところをお聞かせ願
いたいと存じます」とあいさつし、話し
合いにはいりました。

概要は次のとおりです。

理崎 三郎(関辺小学校長)

新築移転五年目の学校で、広大な敷
地を利用し、体力づくりを推進してい
る。また地域住民が自然と集まってく
るような地域の核としてのコミュニテ
ィスクールをめざしている。例として
実行力のあるPTA、裸足の生活実践
への老人によるワラジ作りなど地域全
体で学校を盛りあげようとしている。
八代喜久子(小野田小学校長)

郷土を愛し、喜んで学校に通う子ど
も、またすぐに仕事をする子どもを育
てたいと考え、具体的にはスポーツ少
年団、PTA協力によるアスレチック
遊具の作成のほか、農村にもかかわら
ず田植えの経験のある者が少ないため
農協の指導員の協力を得て農業の大切
さを教えている。
八島 節子(川谷小中学校PTA副会
長)

PTA活動の充実を図るため魅力あ
るPTA、地域社会をめざしている。
餅つき大会、親子星を見る会、作品展
示、親子探草、探鳥会など自分のでき
る範囲で活動し、その成果は着実にあ
がっている。

武藤 浩(白河第一小学校教頭)

学校教育を充実する最大の方法は、
授業を充実することであると考え、特
に児童の考えを重視した授業展開を研
究している。また健康教育の推進をは
かり、ふれあいの丘の活用、大食堂で
の一齐給食指導、肥満児対策等を実践
している。一方、学校周辺の自然環境
が破壊されている問題もある。

遠藤 勝(白河第二小学校教頭)

「わかった」「できた」と喜ぶ子ど
もでいっぱい授業にしたいと考え、
学習内容の精選、学習規律の成立、操
作的活動や現場学習などのほか、自己
実現ができる学級会、児童会を展開し
そのための実力ある教師を育てるため
十六年間にわたって校内研修を続け研
究を継続している。

村越 久子(五箇小学校教諭)

はつきりと自分の思うことを言える
子に育てたいと考えている。「おはよ
う」と大きなあいさつ、語尾をきちん
とつけて話す訓練を根気よく指導して
いる。よくできればほめると同時に、
聞き方の訓練も行い、全ての集会の場
を学習の場としている。

奈良 啓明(泉崎中学校教諭)

進路指導を中心とした学年経営をす
ずめている。特に進路情報の提供のし
かた、父兄への対応のしかたに工夫を
している。また体育指導にも力を入れ
耐性をつけたいと考えているが、剣道
柔道の指導者が少ないため十分な指導
ができない現状である。

戸井田文字(小田倉小学校養護教諭)

う歯予防、視力の向上、健康体操の
実践などとおして、養護教諭の立場
から学校づくりに取り組んでいる。歯
みがきは定着し、健康体操では、視力
の回復に著しい効果をあげている。食
堂給食は和気あいあい、偏食を少な
くし親密さも増し、非行を防ぐ役も果
たしている。

以上のような話し合いが各委員や参
加者の活発な意見交換をまじえながら
進められました。

最後に諸橋委員長から「学校が子ど
もにとって一番大切な場所」になるよ
う今後も努力していただきたいとの発
言を得て閉会しました。



熱心に意見発表を聞く各委員や関係課長